

カンキツ類におけるミカンハダニの発生情報について

1. 本年の全般的な発生概要

本年のミカンハダニの越冬量は平年並～やや多でしたが、3～4月が乾燥状態で推移したため、4月としては例年になく発生が多くなっています（下記調査結果、別紙図表参照）。気象予報では5月の気温、降水量ともに平年並の予想となっていますので、今後も6月まで発生が増加すると思われます。

調査結果

- ・巡回調査（4月中旬、県内26ほ場、病害虫防除所）

| | | |
|-----------|-------|------------|
| 雌成虫平均寄生葉率 | 21.9% | （平年値 6.8%） |
|-----------|-------|------------|
- ・県予察ほ場調査（4月5半旬、県予察ほ場無防除樹、果樹研究所）

| | | |
|-----------|--------|-------------|
| 雌成虫寄生葉率 | 100% | （平年値 52%） |
| 10葉当り雌成虫数 | 300.5頭 | （平年値 38.6頭） |
- ・特別調査（5月2半旬、特別調査ほ場、病害虫防除所）
 - 慣行防除園

| | | | |
|------|-----------|-------|------------|
| 早生温州 | 雌成虫寄生葉率 | 48.9% | （昨年値 0.0%） |
| | 10葉当り雌成虫数 | 17.3頭 | （昨年値 0.0頭） |
 - 省力防除園

| | | | |
|------|---------|------|------------|
| 早生温州 | 雌成虫寄生葉率 | 6.7% | （昨年値 1.1%） |
| 普通温州 | 雌成虫寄生葉率 | 5.6% | （昨年値 0.0%） |
| ハッサク | 雌成虫寄生葉率 | 0.0% | （昨年値 0.0%） |

2. 防除について

通常5～6月の防除はマシン油乳剤の散布が一般的ですが、今年の成り疲れや台風の影響により樹勢が低下している園では、他の殺ダニ剤使用を検討することも大切です。その場合は、薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一薬剤年1回使用を励行し、残効の長い薬剤は秋期のために温存しておいた方が良いでしょう。マシン油乳剤による防除を行う場合は、なるべく高温となる日中を避け、かけムラがないように樹冠に十分量散布しましょう。また、ボルドー液との混用、近接散布は落葉を助長する場合がありますので控えましょう。